

事前評価書

<p>1 事業名</p> <p>総合流域防災事業</p>	<p>地区名・路線名等</p> <p>まこもに さわ 真菰二の沢</p>
<p>2 事業概要</p> <p>(1) 位置：新城市連合地内</p> <p>(2) 規模・内容：砂防えん堤 1基</p> <p>(3) 事業期間：平成20年度～23年度</p> <p>(4) 事業費：200百万円</p>	
<p>3 必要性</p> <p>真菰二の沢は、新城市に位置し、保全対象として市の避難所に指定されている連合小学校、主要地方道鳳来東栄線および人家6戸を抱える土石流危険溪流であります。流域の荒廃状況は著しく、早急に土石流対策えん堤を整備し、連合小学校や人家等の保全および集落から新城市中心部への唯一の路線である主要地方道鳳来東栄線の交通の安全を確保する必要があります。</p>	
<p>4 事業効果 (費用対効果分析のある場合)</p> <p>(1) 評価期間：事業着手から事業完了後50年間</p> <p>(2) 基準年度：平成19年度</p> <p>(3) 基準年における総費用(C)：189百万円</p> <p>(4) 基準年における総便益(B)：1,659百万円</p> <p>(5) 便益の内訳：一般資産、公共土木施設等</p> <p>(6) 費用対効果(B/C)：8.78</p> <p>(7) その他</p>	
<p>5 事業をめぐる社会情勢</p> <p>近年、局所的な大雨による土石流の発生が多くみられるようになり、地元の事業に対する期待度は高いものがあります。</p>	
<p>6 その他特記事項</p>	